

市民と市長との対話集会会議録【要旨】

※生成 A I による要約を行なっています。

令和 6 年 10 月 18 日 銭亀区の公共交通を考える有志の会

代表（司会）

本日は、まちづくりについての市民の声を聞いてもらえることに感謝します。2022 年から公共交通環境の遅れを市に訴えてきた。公共交通の整備はまちづくりに重要であることから、コミュニティバスの開業を提案する。市民の建設的な意見を行政に反映してほしい。本日はよろしくお願いします。

市長

対話集会は、市民の声を市政に反映させるために行なっている。今日で 23 回目となる。テーマに沿って皆さんからの意見をいただきながら、それを前向きに進めるための意見交換を行いたい。短い時間だが有意義な時間にしたい。

参加者

2022 年から有志の会が発足し、公共交通の問題を市に訴えてきたが、具体的な行動がない。対話集会では単に意見を言うだけでなく、市と懇談しながら方策を見出していきたい。

参加者

コミュニティバスの問題を解決するために、具体的な問題点を探り、それを解決することが必要だと思う。

参加者

高齢化が進み、コミュニティバスのような移動手段が必要であると感じている。公共交通機関がないと、免許を返納したくてもできない。公共交通機関があれば、高齢ドライバーによる交通事故の防止にもつながる。

参加者

銭亀区に引っ越して 16 年になる。当初は父母が運転していたため不便を感じなかったが、免許返納後は車がないと不便だと感じる。バスがほとんど走っていない状況で、公共交通機関が必要だと強く感じる。

参加者

一人暮らしであるため自家用車が欠かせない。免許返納を考えていたが、けがで通院をすることとなったため、運転を継続することにした。タクシー利用は高額で、車の維持も負担である。コミュニティバスかライドシェアの運行を早急にする。

参加者

自然を身近に感じられ、ライフラインに困らない環境を求めて埼玉県から移住してきた。夫婦で1台の車をシェアしながら生活している。買い物だけならネットを利用することもできるが、外に出て人に会う機会も大切にしたいと考え、年齢と共に公共交通が必要になる。通学や通勤のためにもコミュニティバスが充実するとありがたい。

参加者

公共交通機関が充実すると、仕事探しの際に選択肢が広がる。コミュニティバスの充実を期待している。

代表（司会）

この地域は60年間何も変わっていない。地域の変化を求め、前進していきたいと考えている。公共交通の問題を解決するため、市にも協力をお願いする。

市長

コミュニティバスの利用目的などを検証する必要がある。交通手段の確保については、中津川市全体で課題となっている。人手不足でタクシーや路線バスの台数も減ってきている。地域の交通手段を確保するためには、コミュニティバスに限らず、他の手段も検討していく必要がある。

参加者

駅から近くても交通機関がないのは問題である。将来のリニア駅開業に向けて交通手段を考える必要がある。地域のニーズをアンケートで把握し、対応していくべきである。

代表（司会）

学生の通学では、公共交通機関の不足が問題となっている。若者が定住し続けるためにも、交通手段の確保が必要である。市も一緒に考えてほしい。

市長

できる方法を考え、地域の交通手段をどう確保するかを検討が必要である。

参加者

住みやすい環境を整えるため、公共交通の利便性を考えていく必要がある。市とも連携しながら検討していきたい。

代表（司会）

皆さんの意見を集約し、具体的な行動を進めていきたい。よろしくお願いします。

市長

交通手段の確保は全国的な課題である。地域特性に応じた方法を検討し、どうしたらできるのかを皆さんの知恵を借りながら考えていきたい。今日はどうもありがとうございました。

参加者

有志の会として、次のステップに進むための意見を集めたい。市と連携し、具体的な方策を模索するため、皆さんの協力をお願いしたい。

代表（司会）

本日はどうもありがとうございました。